



長畝小オレンジ通信

平成28年10月14日

ニカ一杯がんばったよ…運動会ニ

今年度も、予行も完全とはいえない状況でしたが、当日は運動会日和。三色の元気あふれる入場、工夫を凝らし熱のこもった応援合戦、息をのむ競技の数々、子ども達一人一人が「青空の下、明るい笑顔で、きらきら輝く」運動会になりました。お家の方や地域の皆様の応援ありがとうございました。



ニ「のうね」の歴史は?ニ

全校朝礼の話から

「長」い「畝」と書いて「**のうね**」

私たちが当たり前に思っている「**長畝**」…でも他の地域の人には読めません。

では、いつから「**長畝**」なのでしょう。

今から1250年前、西暦766年の東大寺古文書に「**奈宇禰…なうね**」という地名が出てきます。これが「**のうね**」の初出のようです。奈良時代から「なうね…のうね」の集落があったのですね。

古文書の中には、豊原・坪江といった地名や、13～14世紀には、玄陽…玄女・則金…乗兼といった地名も見られます。

では、「**奈宇禰**」が「**長畝**」に変わったいきさつはというと、はっきりとは分かりませんでした。

でも、「**奈宇禰**」から数えて1250年、この「**長畝**」が歴史に根ざした地域であることに違いはありません。

自分たちが住むこの「**長畝**」に誇りを持って欲しいですね。



「のうね郷誌」について

「のうねの郷づくり推進協議会」の部会の一つに「のうね郷誌編纂委員会」というのがあり、『紀要 のうね郷誌』を編集・発行しています。本誌5冊・別冊2冊の計7冊が発刊されています。

今回、朝礼の話にあたって、この冊子を参考にさせて頂きました。

興味のある方はコミュニティーセンターへどうぞ

★全国学力・学習状況調査の結果★

28年度全国学力・学習状況調査の本校の状況（学力の状況）をお知らせします。（28年4月19日 小学6年・中学3年を対象に実施されました。）

＜正答率の全国平均・福井県平均との比較＞

教科	正答率		長畝小
	全国平均	福井県平均	
国語A	72.9	76.8	◎
			○
国語B	57.8	62.7	○
			=
算数A	77.6	82.4	○
			=
算数B	47.2	51.5	○
			=

本年度も、福井県の正答率の平均は上位を占めています。

本校は、国語B・算数A・算数Bにおいて、少し弱さが見られるものの、全国・県と比較して、同等またはそれ以上の成績でした。

これは、学校での学習指導だけでなく、ご家庭での保護者の皆様のしっかりした支援によるものと感謝しています。

◎ 平均をたいへん上回っている。（5%以上）

○ 平均を上回っている。（2～5%）

= 平均とほぼ同じである。（±2%）

*国語A

○全体として大変よくできています。

○漢字の読み書き等は、大変よくできており、日頃の学習・漢字練習の成果が表れていると思われます。

△ローマ字の読み書きに弱さが見られます。

*国語B

○全体としてよくできています。

△目的や意図に応じた文章を書いたり、文の内容や図表を関連づけて自分の考えを書いたりすることに弱さが見られます。

*算数A

○全体としてよくできています。

基礎的な計算はよくできています。

△割合の計算（歩合・百分率等）に弱さが見られます。

*算数B

○全体としてよくできています。

△グラフから読み取ることや、数学的な考え方を文章として表現することに弱さが見られます。

次回は、学習状況についてお伝えします。